

ぬまた とも なかがき
安芸国沼田郡伴村 中垣家文書 仮目録

広島県立文書館

平成27年(2015)9月

凡 例

1 本目録には、安芸国沼田郡伴村 中垣家文書を掲載した。

2 目録の各項目は以下のとおり。

請求番号 本文書群の群番号(199706)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 199706 / 1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。内容等で補記すべきものがあれば()で補った。集合形態をした資料の内訳を示す場合には、頭に“○”を付けた。

年 代 資料に記された作成年月日を探り、推測した場合は()書きで表記した。

作 成 資料に授受関係のあるものは で結んで表記した。多人数にわたるものは、適宜「他 名」と略記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。

3 文書の排列は請求記号順とした。

4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に付した。

【文書群概要】

安芸国沼田郡伴村^{ぬまた とも} 中垣家文書^{なかがき} (請求記号 199706)

沼田郡伴村の長百姓などを勤めた新作の日記など。

出 所 中垣家

出所地名 安芸国沼田郡伴村 / 広島県沼田郡伴村 / 広島県安佐郡伴村 / 広島県安佐郡沼田町伴 / 広島県広島市安佐南区沼田町伴 [現在]

旧支配 広島藩領

分量 2点 (1冊 , 1巻)

収蔵までの経緯 平成9年(1997)10月に原蔵者より「御旧記」を寄託。その後、平成15年(2003)4月2日、「新作辞世句」1巻を追加して改めて寄贈された。

年代 「御旧記」は文化14(1817)1月15日から明治14年(1881)1月23日までの記述。

歴史(沿革/履歴等) 中垣家は沼田郡大原の農家。屋号は「中垣内^{なかがいち}」。「御旧記」の作者と思われる新作は、伴村長百姓を勤めた。新作の父は吉左衛門(或いは平右衛門か、嘉永元年死去)、新作は明治10年8月18日に83歳で死去している。原蔵者はその子孫に当たる。

内容 「御旧記」は、文化14年(1817)~明治14年(1881)の約60年にわたる日記で、天候や物価の変動に関する記述が中心であり、災害や事件に関する記述も目立つ。表紙破損のため作成者名は確認できないが、記述内容等から新作と推定される。ひらがなが多用され、文字もたどたどしい。農民日記とすれば例が少なく、当時の農民の関心や教養、言語などを知ることができる。

参考文献 「収蔵文書の紹介 農民の口語調による記録 中垣家文書「御旧記」」(『広島県立文書館だより』第21号、平成15年1月、広島県立文書館)

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

利用上の留意点 「御旧記」は複製資料と解読文がある。

(2015. 2.19 記述 / 西村 晃)

【目録】

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
1	御旧記	文化14. 1. 15 ~ 明治14. 1. 23	(沼田郡)伴(村新作カ)	竖冊	1冊
2	[新作辞世句]		(伴村新作)	卷子	1巻